

(社)甲府青年会議所2021年度

年間事業計画書(案)

山の都ブランディング室	地域の魅力浸透委員会	委員長 坂本 真一
-------------	------------	-----------

1. 基本理念

地域資源を活かし、地域住民とともにまちづくりを実践することで、地域の魅力を浸透させる。

2. 事業名・事業目的/内容・予算・開催月

事業名	事業目的 / 内容	予算	開催月
1. 公開献血の実施	会員の献血への意識を高め、地域へ広く献血への協力を募る事業を行う。	0	1月、4月、8月
2. 3月例会 (地域の魅力発掘)	多様な視点を学び、地域の魅力に気づくことで、今後のまちづくりに対する気運を高める例会を開催する。	120,000	3月
3. 地域の魅力浸透事業 [70周年記念事業]	地域住民とともに地域資源を学び体感することで、山の都の魅力を浸透させる事業を行う。	300,000 [350,000]	3月～10月
4. 8月例会 (地域の魅力共感)	地域の魅力を共感することで、地域に対する愛郷心を育む例会を開催する。	200,000	8月
予算合計		¥970,000	

年間事業計画書(案) 指摘・質問事項

山の都ブランディング室	地域の魅力浸透委員会	委員長 坂本 真一
-------------	------------	-----------

指摘・質問事項及び対応

[審査]第01回室長予定者会議

09月30日(水)

指摘・質問事項	対応
地域住民が「山の都」の魅力を実感していると考えていますか。	まだまだ伝えられる余地はあると考えています。また、それを実現できる方法もあると考えています。
所信にある巻き込むという観点ではどのように考えているか、委員長の考えを教えてください。	自分以外の身近な誰かと共有したいと思うことが巻き込んでいくうえで必要な要素だと思っています。まずはその魅力に、より興味や好奇心を抱いてもらい、知ってもらうことから始まるものと考えています。
委員長の考える山の都の魅力とは何なのか教えてください。	文化、産業、自然など様々な魅力がありますが、その中でも様々な目的や意義をもち、地域を挙げて行われる『祭り』の魅力を活かしたいと考えています。
祭りとは既存の祭りなのか、新規の祭りなのか教えてください。	現状は既存の祭りと考えています。
既存の祭りとどのように関わっていくのか教えてください。	参画するだけではなく、その目的や価値観を知り、より魅力を感じ取ることができるような関り方を行いたいと考えています。
地域の魅力浸透事業に関して、なぜ3月から始めるのか教えてください。	行政との兼ね合いを考え、3月とさせていただきました。
8月例会で集大成なののでしょうか。集大成ならば、なぜ10月まで事業を行うのか教えてください。	集大成は8月と考えています。10月まで事業を行う理由ですが、検証を行うための期間と考えています。

[協議]第01回三役予定者会議

10月02日(金)

指摘・質問事項	対応
魅力とは新しく見つけるものなのか、それとも元々あるものなのかどちらだと考えているか教えてください。	すでにある魅力と考えています。
3月例会は内向きなものなののでしょうか。また、なぜそのように考えているのか教えてください。	3月例会では、我々会員が地域の魅力を学び、その後の事業や例会において、地域の魅力を再認識し、その魅力を地域住民の生活に浸透させていくきっかけとしたいと考えています。そのため、まずは我々会員のまちづくりへの意欲を高めるための例会にしたいと考えます。
委員長にとって“まちづくり”と何か教えてください。	志を同じくする個人、団体、組織が協働し、地域の発展につなげる活動と考えています。

年間を通して、例会と事業の流れを教えてください。	まず3月例会で地域の魅力を学び、共感し、会員のまちづくりへの意欲を高めたいと考えています。その後、事業でまちの魅力を知る機会を設け、これからのまちづくりについて考えます。8月例会では実際にまちづくりを行い、10月までに検証を行い事業終了としたいと考えています。
基本理念に出てくる愛郷心とは、会員が持っているもの、地域の人が持っているもの、どちらを指しているのか教えてください。	会員の持っている愛郷心を指しています。
現時点において、会員は愛郷心を持っていると考えてますか。	会員はすでに愛郷心を持っていると考えます。しかし、本事業を通じて新たな魅力に気付くことで、さらに愛郷心を高められるものと考えています。
「地域とともに」とは、どのような状況のことを考えていますか。	同じ目的意識を持ったうえで、同じ時間を共有し活動する事と考えています。
「地域」、「山の都」、「まち」の違いはどのように考えていますか。	「まち」とは生活や産業、経済も含めた我々の住む空間そのものを指し、「地域」は「まち」に加えて、そこに住む人や団体などの資源を含めたものを指し、「山の都」は、甲斐市、甲府市、中央市、昭和町の範囲を特定したものと、それぞれ考えております。
今、委員長が思う地域の魅力とは何なのか教えてください。	魅力とは、その地域が他の地域よりも優れている、あるいはそこにしかないようなユニークな価値と考えています。また、地域の発展に欠かせないものと思います。
地域住民を巻き込んでまちづくりをするのであれば、実行委員会を立ち上げるのか教えてください。	実行委員会の立ち上げも視野に入れ、検討して参ります。

[協議]第02回理事予定者会議

10月07日(水)

指摘・質問事項	対応
基本理念と事業目的に「まちづくり」とありますが、まちづくりをする委員会なのか、まちづくりにつなげる委員会なのか、「まちづくり」という言葉に二つの意味があるように感じます。よく考えてください。	まちづくりを行い、「山の都」の発展につなげることが目的であったため、基本理念を「地域との交流を通じて、会員の愛郷心を高め、地域と共にまちの魅力を発信することで「山の都」の発展につなげる。」に変更いたしました。
地域とはどの範囲ですか。地域とは地域住民ではないのですか。	地域という言葉には、そこに住む人や団体などの資源を含めたもの地域と考えておりますので、地域住民も含まれます。
「地域の魅力」という言葉が何回も出てきますが、委員長の考える魅力を確立して事業を進めてください。	今後、より具体的なものとして捉えられるよう努力して参ります。
愛郷心を高めるだけで目的を達成できるのでしょうか。改めて考えてください。	愛郷心を高め、地域と共にまちづくりを行うことで、目的の「山の都の発展につなげる」を達成できるものと考えております。
無くなってしまった祭りを復活させることも価値があるのではないのでしょうか。また甲府市以外の地域の行事に着目してみてもはどうでしょうか。	前向きに検討させていただきます。

[審査]第02回室長予定者会議

10月12日(月)

指摘・質問事項	対応
地域の魅力浸透事業の地域資源を活かしとありますが資	「山の都」の場所や物などを指しています。



源とはどの部分を指してるのか教えてください。	
事業ではまちづくりを行うのか、魅力を浸透させるのかわかりにくいので、再考してください。	基本理念を再考するとともに、事業内容も再考いたしました。
委員長が思うまちの発展とは、どんなことをイメージしているか教えてください。	私の思うまちの発展とは、この地域の魅力をより深く知り、魅力を実感することで人々に更にこのまちを良くしようという気概が生まれることです。
公開献血を地域の魅力浸透委員会が担当する意義を教えてください。	公開献血は甲府青年会議所が長年地域に向けて行ってきた魅力的な事業です。そのような地域の魅力を他へ浸透させていくことが地域の魅力浸透委員会が担う目的であり意義であると考えております。
基本理念に「地域と共に」とありますが、地域とは何を指すのか教えてください。	まちとそのまちを形成する資源、人、団体を指します。

[協議]第02回三役予定者会議

10月16日(金)

指摘・質問事項	対応
基本理念に「地域住民とともに」とありますが、実行委員会をたちあげて、通年で活動していくのか、事業、例会にサポートとして人を呼ぶのか教えてください。	実行委員会も含め、事業自体にご協力いただける地域住民をイメージしています。
地域資源の捉え方について、もともとある魅力を地域資源と捉えるのか、新たな発見をしたものを地域資源として捉えるのか教えてください。	基本としては、もともとある魅力を地域資源とさせていただいておりますが、新たに発見した魅力も地域資源と捉えています。
地域の魅力を掘り起こす中で、無くなってしまったものを元の状態に戻すことなのか、それ以上にするのか教えてください。	魅力を浸透させるという意味では、今まで以上の状態にすることを想定しています。
浸透したというのはこういった状態なのか教えてください。	個々の地域の魅力として考えれば、より認知され、一般化した状態と思っていますが、地域住民がまだまだ知らない、または埋もれている地域の魅力が存在していたことに気づき、地域への期待値が高まった状態も浸透した状態、として考えています。
基本理念の最初に「地域の魅力を掘り起こす」とありますが、掘り起こすことをメインで進めていくのか教えてください。	掘り起こすこと自体が目的ではなく、掘り起こした地域の魅力を認知し、浸透させて行くことをメインとして考えています。
魅力を掘り起こすとしてしまうと限定されてしまい、埋まっている魅力しか対象にならないと捉えられるので、そのあたりをもう少し考えて基本理念を再考してください。	地域の魅力一つをとってみても、地域住民個人からすればそれを知っている方もいれば、知らない方もいると思います。これは埋まっているかどうかという点でも同じで、この掘り起こすという言葉には、誰かが知っている魅力を、それまで知らなかった誰かと共有するという意味を込めて使わせていただいていたのですが、ご指摘の通り基本理念の言葉としては伝わりづらく相応しくないと考え、基本理念を再考し「地域の魅力を再認識し、地域住民とともに浸透させていくことで「山の都」の発展につなげる。」とさせていただきます。

[協議]第01回臨時三役会議

10月19日(月)

指摘・質問事項	対応
公開献血について、例年にない地域の魅力浸透委員会だ	地域の魅力浸透事業を絡めることで、より広く地域住民

からこそできる新しい取り組みは考えていますか。	が献血のことを知り、協力いただけるよう取り組んで参りたいと考えています。
地域の魅力浸透事業の事業目的の「その」と、8月例会目的の「その」は削除してください。	地域の魅力浸透事業の目的、また8月例会の目的内容を変更しました。
8月例会目的の魅力という言葉が2度出てくるので、再考してください。	8月例会の目的を「地域の魅力を共有し、共感することで、ともにまちづくりへの意識を高める例会を開催する」に変更しました。
基本理念の「浸透させていく」という言葉は日本語として正しいのか再考してください。	基本理念を「地域の魅力を活用し、地域住民とともに浸透させることで「山の都」の発展につなげる。」に変更しました。

[協議]第03回理事予定者会議

10月23日(金)

指摘・質問事項	対応
基本理念について、「魅力」を活用して「魅力」を浸透させるということですが、手段としての言葉が目的と一緒では不適切だと思いますので再考してください。	基本理念を「地域住民とともに地域資源を活かしたまちづくりを実践し、魅力ある「山の都」の発展につなげる。」に変更しました。
公開献血事業の目的に「諸団体と連携し」とありますが、具体的な目星をつけていないのであれば表現を変えてください。	事業目的を「会員の献血への意識を高め、広く献血への協力を募る事業を行う。」に変更しました。
誰が地域住民と魅力を浸透させるのですか。	会員が地域住民とともに魅力を浸透させることを考えております。
理念は、はるか未来の事を見据えていても良いですが、事業は10月に終わります。事業が終わった時点でどうなっていたいか、どうなっているべきかをよく考え、事業目的としてください。	10月の段階では、会員を含め地域住民が多くの地域の魅力を感じ取り、より愛着が高まった状態を着地点と考え、地域の魅力浸透事業の事業目的を「地域住民とともに地域資源を学び、その魅力を浸透させる事業を行う。」に変更しました。
委員長にとって地域の魅力とはどのようなものか教えてください。	私にとっての地域の魅力は、他の地域に自慢できるようなものです。例えば、資源や文化歴史を象徴する信玄公祭りや影絵の森美術館などはもちろんですが、もう少し小さな視点での、地域を代表する食としてほうとうや鳥もつが食べられる店舗なども地域の魅力と考えております。
「地域」や「地域住民」という言葉が何度か出てきますが、例会・事業を通して、会員にはどうなってもらいたいと思っているか教えてください。	会員にはこの事業を通じ、地域住民を巻き込み、得た知識と高まった愛郷心をもって、自発的に地域の魅力を語れるよう、また、率先してまちの発展に参画する気概を持ってもらいたいと考えています。

[協議]第04回合同三役会議

10月27日(火)

指摘・質問事項	対応
70周年に向けてどのように気運を高めていくのですか。またどのように取り組んでいくのか年間事業計画書に反映してください。	全体事業として、70周年記念事業への参画と記載させていただきました。
どうして今ある地域資源を活かしたまちづくりが必要なのか教えてください。	理事長所信にもありますが、未来の機会を活かすためには過去からある魅力である地域資源を知ることが必要だと考えました。
地域資源を知って終わるのではなく、その先も考えてく	地域資源を学び、その地域資源を実体験を通して活用

ださい。	し、会員と地域住民にこのまちの魅力を浸透させていきます。
------	------------------------------

[協議]2020年度 第13回理事会

11月02日(月)

指摘・質問事項	対応
年間事業計画書に記載のある予算ですが、[]内の予算が何なのか教えてください。	[]内の金額は、70周年記念事業費から支出した分金額です。
3月例会の事業目的に多様な視点を学ぶとありますが、何についての多様な視点なのか教えてください。	地域資源についての多様な視点と考えています。
基本理念の中に地域資源活かしたまちづくりを实践しとありますが、公開献血の実施、地域の魅力浸透事業、3月例会、8月例会のどこで実践するのか教えてください。	地域の魅力浸透事業で実践します。
地域の魅力浸透事業で実践するのであれば、事業目的に沿っていないので、再考してください。	事業目的を「地域住民とともに地域資源を学び体感することで、山の都の魅力を浸透させる事業を行う。」に変更しました。
3月例会の事業では気運を高めるとあり、8月例会では意識を高めるとありますが、似たような内容になりますので再考してください。	8月例会の事業目的を「地域の魅力を共感することで、ともに地域に対する愛郷心を育む例会を開催する。」に変更しました。
理事長所信にこのまちには地域資源、産業、文化がありますと記載がありますが、地域の魅力浸透委員会では地域資源だけにスポットを当ててにまちづくりを行うのか教えてください。	地域資源という言葉の中に、産業や文化も含まれると考えてこの言葉を使用しています。
理事長所信の中では、人を巻き込むという観点からまちづくりを实践するとありますが、どうやって巻き込んでいくのか教えてください。	我々が考える地域の魅力となる場所やイベント、人物などの地域資源へ、地域住民に行ってもらい、実際に体験をしていただけるような設えを用意して、地域を巻き込んでいこうと考えています。
地域の魅力を浸透させるだけでは魅力ある「山の都」の発展にはつながらないと思うので、基本理念を再考してください。	基本理念を「地域資源を活かし、地域を巻き込んだまちづくりを实践することで、地域の魅力を浸透させる。」に変更しました。
4つの例会・事業がどのように基本理念につながるのか教えてください。	3月例会でこの地域にある資源（魅力）を知ってもらい、地域の魅力浸透事業でその魅力を地域に浸透させ、8月例会でそれらをまとめて何かしらの形で発表できるよう考えています。 献血については、このような活動をしているLOMIはありませんので、この事業自体が地域にある魅力の1つであると考えています。会員及び地域住民が献血をすることを通じて、地域の魅力の1つに気づいてもらえると考えています。
公開献血の実施の事業目的が会員のみを対象にしているように捉えられるので、どのように地域住民が関わるのかわかるような事業目的にしてください。	公開献血の実施では会員だけでなく、地域住民の方へも献血の大切を街頭PRを通して伝えていき、協力していただきたいと考えていますので、事業目的を「会員の献血への意識を高め、地域へ広く献血への協力を募る事業を行う。」に変更しました。
3月例会がスタートであれば年間事業計画書に記載する事業名の順番を修正してください。	年間事業計画書に記載する事業の順番を、2. 3月例会(地域の魅力発掘)、3. 地域の魅力浸透事業に変更しました。
全体事業で70周年記念式典事業への参画とありますが、全ての70周年記念事業に参画するのはそれぞれの委員会の負担になりますので、再考してください。	全会員が計画段階から全ての70周年記念式典事業へ関わるわけではないので、70周年記念式典事業への参画という事業名、事業目的は削除いたしました。

[審査]第03回室長予定者会議

11月04日(水)

指摘・質問事項	対応
3月例会の「気運を高める例会を」とありますが機運を高めるとはどういった例会なのか、基本理念のどの部分に当てはまるのか教えてください。	3月例会では、今後行う地域資源を活用した地域住民を巻き込んだまちづくり事業に繋げる為の第一歩として、会員と地域の魅力について学び、再認識し、まちづくりへの意識を盛り立てる例会にしたいと考えております。
基本理念の部分で「地域」という単語が3回出てくるが、イメージしにくいので再考してください。	それぞれに資源、住民、魅力と追記し、基本理念を「地域資源を活かし、地域住民とともにまちづくりを実践することで、地域の魅力を浸透させる。」に変更しました。
公開献血の実施についてですが、委員長が考える地域の魅力浸透委員会が受け持つ意義は何なのか教えてください。	公開献血は甲府青年会議所が長年地域に向けて行ってきた魅力的な事業です。そのような地域の魅力を他へ浸透させていくことが地域の魅力浸透委員会が担う目的であり意義であると考えております。

[審議]第03回三役予定者会議

11月09日(月)

指摘・質問事項	対応
基本理念に地域資源、地域住民、地域の魅力とありますが、なぜそれぞれに地域という言葉をつけたのか教えてください。	この委員会では地域住民を巻き込んで、この地域の魅力を地域資源を活用して浸透させたいと考えています。私たちの住むこのまちに対する想いからそれぞれの言葉に地域と付けさせていただきました。
委員長の考える地域と山の都の違いを教えてください。	地域は山梨県全体、山の都は甲府市、甲斐市、中央市、昭和町だと考えています。

[審議]第04回理事予定者会議

yy月dd日(ddd)

指摘・質問事項	対応

[審議]第XX回合同三役会議

yy月dd日(ddd)

指摘・質問事項	対応

[審議] 2020年度第XX回理事会

yy月dd日(ddd)

指摘・質問事項	対応

